

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,330	t-CO <sub>2</sub>
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,330

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	1,578	t-CO <sub>2</sub>	1,555	t-CO <sub>2</sub>	1,449	t-CO <sub>2</sub>	1,251	t-CO <sub>2</sub>	1,330	t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）			1.5	%	8.2	%	20.8	%	15.7	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

入居率の改善の影響があると思われる。  
 空冷ヒートポンプチラーを高効率な機器に更新した。（2014）  
 給湯室の照明をLED化・照明器具及び換気扇を人感センサーによる自動化した。（2015）  
 各階の照明器具をLED化を行った（2023）  
 受水槽、高架水槽を更新し、過剰な設備を適切な容量となるようにした。またそれに伴いポンプを減らし、消費電力を抑えた。（2025）

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症に配慮しながら身体に無理のない範囲で冷房温度 28℃、暖房温度 20℃を心がける。</li> </ul>		熱中症に配慮しながら目的温度となるように努力している。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用していない部屋、昼休み等には不要な照明の消灯を心がける。</li> </ul>		使用していない部屋での消灯を行っている。
省エネルギー・省資源の行動の実践OA機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン購入時は省電力のものを可能であれば選ぶようにする。</li> <li>・コピー機、パソコンの退社時のスイッチオフを心がける。</li> <li>・エスカレーターの運行時間を決め、利用者が少ない時間は止める。</li> </ul>		購入の際、検討している。スイッチのオンオフを徹底している。エスカレーターを止める等している。
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙利用を心がける。</li> <li>・分別回収をより実践しリサイクルを心がける。</li> </ul>		分別回収を徹底するよう努めている。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO <sub>2</sub>
熱		t-CO <sub>2</sub>

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>
		t-CO <sub>2</sub>

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO <sub>2</sub>
-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

従業員への環境教育をすすめる。 文具等は可能であればグリーン購入法対象商品にする。
----------------------------------------------

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

エネルギー・省資源行動の実践。 近くの階への移動については階段を利用するよう心がける。
------------------------------------------------